令和8年度 行政書士試験の得点から考える TACのコース選択の目安

例年ですと、300点満点中、全体で５割程度の実力があるかどうか、140～150点以上得点できているかどうかが、受験経験者コースか、基礎コースかの選択の目安となります。

ただし、令和８年度本試験は、記述式問題が比較的易しかったので、記述式を除きます。また、基礎知識もコース選択の得点の目安にならないので、基礎知識の得点も除いて考えます。

その上で、2027年合格目標のコース選択をする場合の目安ですが、法令択一と法令多肢の合計点で５割の得点ができているかどうかを考えます。記述式と基礎知識を除いて、下記、法令択一（160点満点中80点以上（40問中20問以上の正解））と法令多肢（24点満点12点以上）の合計点184点中、５割程度（92点程度）を一つの基準として、ご検討いただければと存じます。

【法令択一＋法令多肢　マークシート問題による目安】

法令択一40問　（160点） **法令多肢12空欄　（24点）　合計184点満点**	
20問以上＋6空欄以上 **＝およそ92点以上**	**答練本科生Ｓ（上級講義き）** **答練本科生Ａ（答練のみ）**
20問未満＋6空欄未満 **＝およそ92点未満**	**プレミアム本科生**

※法令記述式については、ヤマが当たったなど、「紛れ」がありますので、一概に、「記述式で得点できているから受験経験者コース」、「記述式で得点できていないから基礎コース」ということにはなりません。記述式の一つの目安としては、問題44は「訴えの利益の消滅」「却下判決」、問題45の「分離・準備・通知」、問題46の「併存的債務引受」というキーワードが書けていれば、「答練本科生」がおすすめです。これらのキーワードが書けていないようですと、「プレミアム本科生」がおすすめです。

以　上

Copyright© TAC Co.,Ltd. All Rights Reserved.